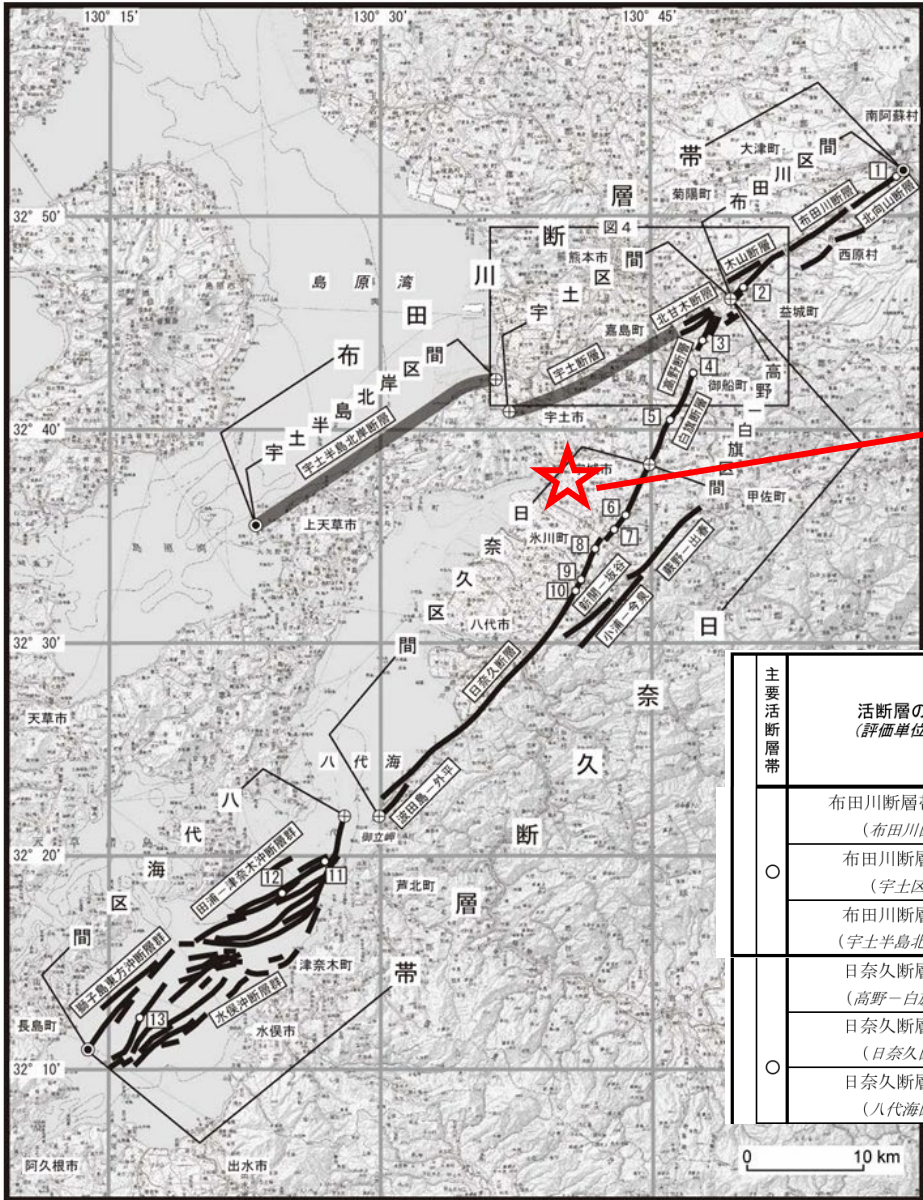


布田川断層帯・日奈久断層帯の長期評価



1:白川左岸地点 2:田中地点 3:高木地点 4:白旗地点 5:鰐瀬地点 6:南小野地点 7:南部田地点 8:高塚B地点 9:腹巻田地点 10:梶地点 11:八代海白神岩地点 12:八代海津奈木沖地点 13:八代海南西部海底地点

●:断層帯の北東端と南西端 ⊕:活動区間の境界

活断層の位置は活断層研究会編(1991)、熊本県(1998b)、池田ほか(2001)、中田ほか(2001)、産業技術総合研究所・地域地盤環境研究所・東海大学(2011)及び地震調査研究推進本部地震調査委員会長期評価部会活断層分科会による重力異常・地質構造の検討結果に基づく。

基図は国土地理院発行数値地図200000(地図画像)「熊本」「八代」を使用。網掛線は、重力異常、ボーリングや音波探査により位置が特定された活断層。

2026年7月28日 M7.1

「今までに公表した活断層及び海溝型地震の長期評価結果一覧」
(算定基準日：令和8年1月1日)

主要活断層帯	活断層のくくり (評価単位区間)	各区間が 単独で活 動する場合 の地震の 規模 (M)	複数区間 が同時に活 動する場合 の地震の 規模 (M)	我が国の主な活断層における相対的評価 (注4)			地震後 経過率 (注2)	平均活動間隔
				地震発生確率 (注1)				最新活動時期
				30年以内	50年以内	100年以内		
○	布田川断層帯 ^{(注12)(注13)} (布田川区間)	7.0程度	7.5-7.8 程度以上 ^{※1}	Zランク	ほぼ0%	ほぼ0%	ほぼ0%	8,100年-26,000年程度 ^(注14) 平成28年(2016年)熊本地震 ^(注13)
	布田川断層帯 ^(注12) (宇土区間)	7.0程度	・	Xランク	不明	不明	不明	不明
	布田川断層帯 ^(注12) (宇土半島北岸区間)	7.2程度 以上	7.8-8.2 程度 ^{※2}	Xランク	不明	不明	不明	不明
○	日奈久断層帯 ^(注12) (高野-白旗区間)	6.8程度	7.7-8.0 程度 ^{※3}	Xランク	不明	不明	不明	不明
	日奈久断層帯 ^(注12) (日奈久区間)	7.5程度	・	S*ランク	ほぼ0%～6%	ほぼ0%～10%	ほぼ0%～20%	約1,600年前以後、約1,200年前以前 3,600年-11,000年程度
	日奈久断層帯 ^(注12) (八代海区間)	7.3程度	7.8-8.2 程度 ^{※4}	S*ランク	ほぼ0%～16%	ほぼ0%～30%	ほぼ0%～50%	約8,400年前以後、約2,000年前以前 1,100年-6,400年程度 約1,700年前以後、約900年前以前

※1 布田川断層帯全体が同時に活動した場合
※2・※4 日奈久断層帯全体と布田川断層帯布田川区間が同時に活動した場合
※3 日奈久断層帯全体が同時に活動した場合

図2 布田川断層帯・日奈久断層帯の活断層位置と調査地点